

GVHD 発症後の予後と HLA 不適合に関する後方視的研究

1. 研究の対象

2007 年 1 月～2017 年 12 月に同種造血幹細胞移植を施行され日本造血細胞移植学会データベース (TRUMP) に登録されている症例

2. 研究目的・方法

GVHDは移植後重要な合併症です。HLA不適合移植においてはGVHDの発症率が高く、GVHD予防としてATGの追加などによりGVHDの発症率をHLA適合移植と同等に減少させることが可能かどうかの検討が広く行われています。しかし、GVHD発症時の予後がHLA不適合移植時にはHLA適合時と比して不良であるとすると、GVHDの予防がHLA不適合移植時により重要である可能性があります。このような解析には、大多数例のデータを用いての解析が必要であり、TRUMPデータベースを用いる必要があります。この結果はGVHD予防の適正化に貢献するものと期待されます。

本研究では、TRUMPデータを用いて後方視的に統計学的解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

日本造血細胞移植学会データベースに登録されているデータを用います。

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究期間の大阪市立大学と共同で解析を進めますが、それ以外の施設への情報の提供は行いません。

5. 研究組織

研究代表(責任者) **藤 重夫**

大阪国際がんセンター 血液内科

〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3 丁目 1-69

TEL:06-6945-1181(代表) PHS 6476

E-mail: fujishige1231@gmail.com

研究分担者

新谷 歩(大阪市立大学)

諫田 淳也(京都大学医学部附属病院)

村田 誠(名古屋大学医学部附属病院)

池亀 和博(兵庫医科大学病院)

森島 聡子(琉球大学医学部附属病院)

寺倉 精太郎(名古屋大学医学部附属病院)

稲本 賢弘(国立がん研究センター 中央病院)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 藤 重夫

大阪国際がんセンター 血液内科

〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3 丁目 1-69

TEL:06-6945-1181(代表) PHS 6476

E-mail: fujishige1231@gmail.com